

正誤表

産業衛生学雑誌 54 巻 6 号 p. 286-293

メンタルヘルス不全に伴う病気休業と休復職に関する規則・制度との関連に関する研究

下記のとおり訂正いたします。

① p.286 著者名および所属

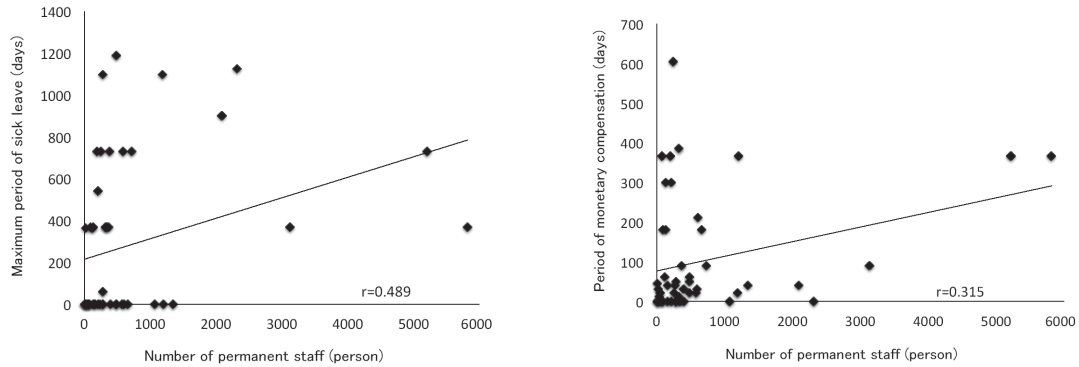
[誤] 小林直紀¹, 笹原信一郎¹, 友常祐介¹, 道喜将太郎¹, 商 真哲¹, 大井雄一¹, 羽岡健史¹, 梅田忠敬¹, 吉野 聡¹, 松崎一葉¹
 [正] 小林直紀¹, 笹原信一郎^{1,2}, 友常祐介¹, 道喜将太郎¹, 商 真哲¹, 大井雄一¹, 羽岡健史¹, 梅田忠敬¹, 吉野 聡¹, 松崎一葉^{1,2}
¹ 筑波大学大学院人間総合科学研究科
² 茨城産業保健推進センター

② p. 287 左下2行目

[誤] 休業者については、調査時から遡る1年の間に休業から復職をはたした者と定義した。
 [正] 休業者については、心の健康問題により30日以上連続して休業し、2009年4月1日～2010年3月31日の期間に復職をはたした者と定義した。

③ p.288 Fig. 1 および Fig. 2

[誤]



[正]

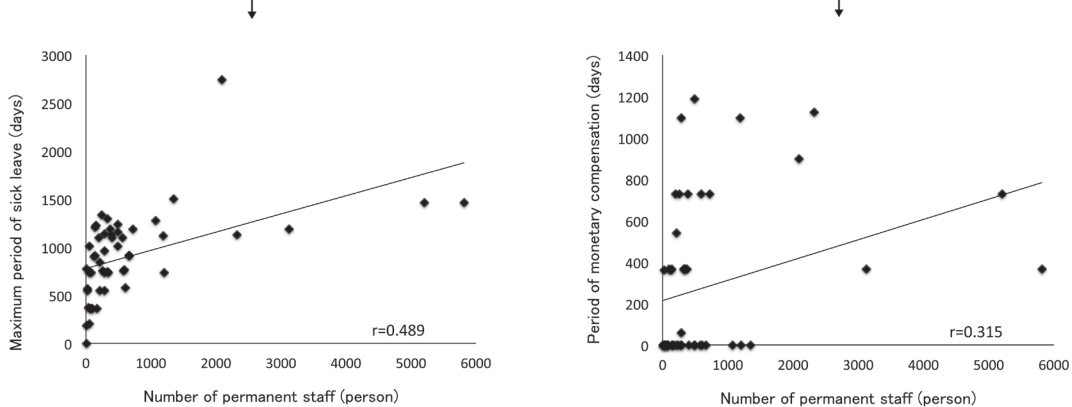


Fig. 1. Number of permanent staff and maximum period of sick leave.

Fig. 2. Number of permanent staff and period of monetary compensation.

④ p.291 IV. 考察 末尾

[誤] 慎重に検討していく必要性があると考えられた。 → [正] 慎重に検討していく必要性もあると考えられた。

⑤ p.291 V. 結論 9行目

[誤] 制度の見直しが必要と考えられた。 → [正] 制度の見直しの必要性も考えられた。

⑥ p.291 謝辞中の一文

[誤] なお、本研究は労働者健康福祉機構茨城産業保健推進センターの平成22年度研究助成を受けた。
 [正] なお、本研究は労働者健康福祉機構茨城産業保健推進センターの平成22年度研究助成の一部を使用した。